

平成28年度 第2回機能性食品・化粧品分科会  
～在宅看護における栄養管理について～

在宅看護における栄養管理の現状、栄養管理の役割などについての話題を提供します。3名岐阜大学の田村先生と鈴鹿医療科学大学の江口先生からのご発表に続き、会員企業の日本コーンスターチ、橋本様から自社製品の介護分野への関わりについて説明していただきます。是非、ご参加をお願い致します。

【日時】平成29年3月9日（木） 13:30～16:30（開場13:00）

【場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）9階 907会議室  
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【主催】NPOバイオものづくり中部（電話 052-203-2053）

【参加費】無料

講演内容

13:30 開会ご挨拶

13:35～14:35 演題1 「地域包括ケアを見据えた食事の提供ビジネス」

講師：岐阜大学医学部附属病院 栄養管理室 室長 田村 孝志 氏

要旨；2025年問題から2035年問題を受けて、現在地域ケアの構築が急がれています。その基盤とするため、2018年（平成30年）に診療報酬と介護報酬がダブル改正されます。特にこの改定では、在宅に対する医療・介護について、その運営、評価がもりこまれることが想像されます。今回のお話では、施設から在宅、特に在宅での栄養管理の現状と食事の提供ビジネスの問題点等を検証していきたいと考えています。

14:35～15:35 演題2 「在宅訪問栄養食事指導の栄養士の役割」

講師：鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科 特任准教授 江口 澄子 氏

要旨：「地域包括ケアシステム」における食の担い手は管理栄養士です。通院が困難な方に対して、管理栄養士が定期的にお宅に訪問し、「食欲がなく食事量が減った」「体重も減ってきた」などのご相談にのり、「おいしく食べられる」を目標に食生活をサポートするのが“在宅訪問栄養指導”です。これを受けることにより、疾病の重症化予防、フレイルの予防、ADLの低下が防止できます。栄養管理士の悪戦苦闘の事例をご紹介します、在宅での食支援の大切さをお話します。

（休憩10分）

15:45～16:30 演題3 「介護食品と澱粉・糖化製品の関わりについて」

～QOL（クオリティーオブライフ）の向上に向けて～

講師：日本コーンスターチ株式会社 テクニカルサービス 課長代理 橋本和紀氏

要旨：創業150周年を迎える弊社の澱粉・糖化製品は多くの製品に利用され、介護食品分

野でも様々な場面で使われています。高齢化社会における QOL に貢献する弊社の介護食品分野への関わりと今後の取り組みを紹介いたします。

**【申し込み先、連絡先】**

NPOバイオものづくり中部事務局 担当：上井

TEL&FAX：052-203-2053 E-mail：support (a) bioface.or.jp ※

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレスをご記入の上、3月2日(木)までにE-mail：support (a) bioface.or.jp ※ までお申込みください。

※ (a) をアットマークに変更してください。